夢を追う旅人の隠れ家

株式会社 Sound Crew

全国紙対談記事

対談 代表 井上 陽賀 × インタビュアー 大仁田 厚［プロレスラー・元参議院議員］

INTERVIEW
KIYOSHI INOUE × ATSUSHI ONITA

企画から制作・編集まで多彩な音楽ノウハウを生かし、夢を描ける事業を発信！

大仁田　音楽関連事業を幅広く手掛けておられるそうですね。そもそも井上代表が音楽へと傾倒された動機は何だったのですか。

井上　音楽好きだった兄の影響から様々な楽器に触れるようになったのがきっかけですね。高校時代では軽音楽部に所属し、その頃から自ら作曲を手掛けていまして、近畿圏の高等学校より軽音楽部を対象とした近畿大会に出場し、特別賞まで頂きました。それ以降も音楽の世界にのめり込み、有名アーティストの裏方やローディーなども夜間高校の学生生活と並行して行なっていました。

大仁田　すごい経験をされていますね。作曲などは感性やセンスが大きく左右するものでしょうが、一方で編集など技術面はどのようにして学ばれたのですか。

井上　学生の頃から音響関連の会社に勤務して学んだ経験もありますが、そのほとんどが独学で、行く先々の現場や音楽で出会う方々の見よう見まねから体で覚えたものです。二つとない繰り広げられる日々のドラマの中で、何でもよいから何かひとつ学び成長したいという気持ちでこれまで歩んできました。これは今後もずっと変わらない私の心得です。

大仁田　では、会社を立ち上げた背景についてお聞かせ願えますか。

井上　この仕事をスタートさせたのは私が二十七歳の時でした。学生の頃から集めた楽器も数知れず、ただ情熱だけで歩んできた二十三歳の冬、私は冤罪事件を経験しました。精神的ショックから楽器すらも弾けなくなった時、「僕はもう駄目だ」と感じ、音楽を封印しようと決めました。そして知り合いの楽器店にすべて売却しようとしたところ、貴重なビンテージギターと出逢いまして、「半信半疑に音楽をやっている人ではなく、君のように音楽を深く愛している人に買ってもらいたい」という店員の言葉が心に響き、自分にさらに追い込みをかける意味を込めてローンを組んだあの日の出来事は、大きな冒険だったように思います。音楽に携わっていくことを諦めたくない一心と、そして我武者羅に歩んだ音楽人生の中で、多くの方々からの支援や協力に今でも感謝の気持ちが私の心に強く残っている事と、当時右も左も解らずに、無力で何もできなかった過去の自分の姿から、これまで培ってきた今の私の力で、少しでも皆さんの夢を叶えられるお手伝いができればと願い、六年前、個人事業として本格的にスタートさせ、そして今年六月に法人化した次第です。

大仁田　代表を音楽の道へと改めて導き直してくれたわけですから、まさしく「運命のギター」ですし、その店員さんには感謝しなければいけませんね。ところで、現在はどのような事業を手掛けておられるのですか。

井上　楽曲提供及びアレンジがメインで、その他レコーディングや編集、ギター教室や機材のレンタル、結婚式などイベント映像の制作など幅広く手掛けています。また、無料でアーティスト達や個人店様のホームページや広告のデザインなども制作しています。

大仁田　本当に多彩なセンスをお持ちなのですね。その一方で、若者達の支援や地域貢献に繋がるような事業も積極的に行なっておられると聞いていますが。

井上　神戸で音楽を愛し、地道に活動を続けている若いミュージシャン達に居場所をつくり、神戸から全国に彼らの活動を発信できるよう「サウンドクルーファミリー」として様々な企画を実施し、そのためのレコード会社も立ち上げました。今の若者達にまだまだ気持ちが暗くなる社会ではありますが、自分達の夢だけは絶対に諦めてほしくない一心で、弊社は努力し続けています。

大仁田　才能はあっても運に恵まれず、日の目を見ずにいる人もいるでしょうから、この活動は大きな追い風として喜ばれていると思います。では、これから手掛けていこうとお考えのことは何かありますか。

井上　義務教育時代にひどいいじめに遭い、極度の人間恐怖症に陥ったことがありますが、阪神・淡路大震災直後、震災が直撃し瓦礫の中に埋もれる「働きながら学ぶ」という定時制の高校へ入学した私は、人として本当に大切なものを多く学びました。学校という思い出は一生の中でほんの一瞬なのかも知れません。ですが卒業と共に散らばり薄れてゆく仲間との思い出は本当に大切で、誰もの心に果たしてどれだけ残っているでしょう。社会へ出てつらく苛酷な日々を乗り越えるために、心を救ってくれるものはきっとあの時あの瞬間、皆で乗り越えた仲間との思い出だと私は思います。そんな学生時代の純粋な眼差しをいつまでも忘れず、今の社会を強く生きていってほしいと切に願い、全国でも例を見ない、弊社独自で考案する「卒業記念」を手掛けています。

大仁田　私も取材の席で拝見させて頂きましたが、率直に感動致しました。多彩な才能を持つ井上代表だからこそできる独自の事業ではないでしょうか。

井上　ありがとうございます。今後、より多くの方々へ夢や希望、そして感動をお届けできるよう努力していく次第です。なにぶん独創的なことばかりを考え、自問自答を繰り返す毎日ではありますが、温かく見守っていて下さい。

大仁田　今年度の兵庫県経営革新計画の承認企業に選ばれたそうで、更なる飛躍が楽しみです。これからも音楽を通じて人々を勇気づけて下さい。私も応援しています。

①INFORMATION